



2006・5

NO.13

LETTER

目次

- ◆ 京都ライオンズクラブ50周年記念事業
「おおみやおひさま発電所」が完成しました(北尾 育子) 2
- ◆ かがやきおひさまプロジェクト始まる 3
- ◆ おひさま発電所見学と講演会 報告 (大西 啓子) 3
- ◆ おおみやおひさま発電所 収支報告 3
- ◆ 2006年度総会のご案内 3
- ◆ これからの太陽光発電はどうなるの? (林 敏秋) 4
- ◆ 「オール電化住宅」後悔記 (鈴木 範子) 5



特定非営利活動法人
きょうとグリーンファンド

「おおみや おひさま発電所」が完成しました!!

社会福祉法人 京都社会福祉協会 大宮保育園 園長 北尾 育子

不思議な出会いに ピンと来て

京都ライオンズクラブ様からの助成金、きょうとグリーンファンド会員の皆様、そして多くのサポーターの皆様方のご寄付、お力添えのお蔭をもちまして、環境学習の拠点となるべく「おおみや おひさま発電所」が完成できましたこと、誠にありがたく深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

さて、「おひさま発電所」との“ご縁”について、とても不思議な出会いがありました。といいますのは、当園が開園してから33年が経過し、若い職員も多くなってきたころ、大切に使用していたものが簡単に壊れたり、電気の無駄遣いの結果か電気代が嵩むようになり“使っていない電気”を消して回る日々が続いたある日のこと、私の元上司Tさんから「私の知人の板倉先生が、環境学習を通して太陽光発電を設置してもらえる保育園を探しておられるのだけれど、大宮で考えてみない?」とのご紹介で、即座に“あっこれだ”とピンと来るものを感じお受けする運びとなりました。

これが、きょうとグリーンファンドさん、そして“おひさま発電所”との出会いの第一歩でした。が、いざお話を伺ったし大きな事業をお引受けすることになったものの、実のところ不安でいっぱいでした。環境問題を考えることは大切なことであり進めていきたいと考えているものの、本当に私たちにそんな立派なことができるのだろうか、保護者や地域の皆様に私たちの考えに賛同してもらえるだろうか…というのが本音のところでした。しかし、そんな心配も板倉理事長様、龍池副理事長様、大西事務局長様、清水様をはじめきょうとグリーンファンドの皆様、京エコロジーセンターの皆様、他多くの皆様方のご指導のお蔭で、子どもたちをはじめ、保護者の皆様、職員共々省エネや節電、ごみの減量など私たちにも出来るように「小さな事から少しずつ始めませんか」との呼びかけに、多くの皆様のご賛同くださり、セミナーの開催や夏祭り、バザーの際に

少しエコロジーの要素を採り入れて“マイお箸”“リユース食器の利用”“リターナブル瓶のジュース”、リサイクルボックス（職員の手製）や環境啓発パネル（職員の手製）の展示を通して、みんなで環境を考えるよい機会が持て、2006年1月14日の点灯式に向け、みんなで盛り上げていただき感謝しております。

環境問題を考える発信基地を目ざして

お蔭をもちまして、点灯式にはあいにくの空模様にもかかわらず、大勢の皆様にご参加いただき盛会裏のうちに終えることができました。クライマックスの“鏡餅点灯”の際、年長児が“みんなのおやくそく”を誓っている時、参加している年中児から鏡餅の電気を見て“つけばなしはもったいない”との声がかかり電気を消すというハプニングがあったのも“環境学習”の賜物であったと嬉しい限りです。

今では毎日、おひさま発電所の表示盤を眺め“きょうもおひさまがんばってる〜”と大喜びの子どもたちです。未来永劫続く生命のために美しい地球環境を残し、安全な環境の下で安心して生活できる明るい未来を子どもたちに継承したいと願い、当園が子どもから大人へそして地域へとみんなで地球にやさしい環境を考える発信基地となれるよう今後も継続してご指導の下に環境問題を考えていきたいと思っております。

(点灯式の一場面と表示板)



かがやきおひさまプロジェクトが始まる

2006年度は伏見区醍醐かがやき保育園におひさま発電所を設置することになりました。かがやき保育園は、2号機のあけぼの保育園とは山科川をはさんだ対岸に位置します。きょうとグリーンファンドの設置施設募集に対し、応募をしていただいたのですが、ありがたいことに、あけぼのや陵ヶ岡、春日野園など既設のおひさま発電所の取り組みをご存知でした。いわゆる「ロコミ」でもあったわけです。

ある場所で、京都は「ロコミ」の地である旨の発言を聞き、ちょっと複雑な思いもしたのですが、私たちの活動も5年目を過ぎてようやく少し知っていただけるものになったということかもしれません。

今年度も手を上げてくださった保育園とともに、NEDO（新エネルギー・産業技術総合開発機構）への補助金申請や学習会、多くの方々に参加を呼びかけるキャンペーン、点灯式とプロジェクトを進め、今年中にはかがやき保育園に10kW規模のおひさま発電所が誕生する予定です。

2006年総会のお知らせ

日時：2006年6月3日（土）午後2時30分から
 場所：ひと・まち交流館（河原町通五条下る東側）
 3F・ミーティング室
 終了後、懇親会を予定しています。

自然エネルギーワーキンググループ主催 ～おひさま発電所見学と講演会報告～

「企業と市民が広げる自然エネルギー」のテーマで3月14日（火）に開かれました。

当日は余りお天気には恵まれませんでしたが、企業・自治体職員・一般市民など約40名が参加されました。京エコロジーセンターからチャーターバスであけぼの保育園、春日野園を見学、園長先生のお話をうかがいましたが、日々の保育現場からの報告はたいへん印象深く、参加者には感動的だったようです。（何度もうかがっている私さえ、現実を変えていく手ごたえに新たな感動を覚えました。）

後半は長谷川公一さん（東北大学・環境社会学）が「自然エネルギーが拓く未来」と題して講演されました。長谷川先生は、社会を変えていく3つの力として、行政・政府の力（権限・権力）、企業の力（資本・技術）、市民・地域の力（志・理念）を挙げられ、3者がかかわることの意味・効果を説かれました。持続可能な次の10年のために、市民セクターとしては「運動の政策化」「運動の事業化」を指摘され、きょうとグリーンファンドの「おひさま発電所」はここ5年設置を続けてきたことで一つのモデルとなったとの評価をいただきました。（講演の内容については「月刊あじえんだ」2006.5.1に報告されています。）～～おひさま発電所の現場を長谷川先生やたくさんの方に見ていただいととても良かったです。

報告：大西 啓子

2005年 おおみや おひさま発電プロジェクト 収支報告書

下記のとおり報告いたします。

（2006年3月20日/千円以下切捨て）

収入の部		支出の部	
京都ライオンズクラブ助成金	2,500,000	設備設置費	9,261,000
		印刷費	568,000
「おおみや おひさま発電プロジェクト」寄付金（163件）	820,000	記録費	68,000
		セミナー関係費（含む夏祭り・点灯式）	155,000
NEDO補助金	3,843,000	コーディネート費	115,000
		通信運搬費	14,000
大宮保育所資金	2,366,000	旅費交通費	40,000
きょうとグリーンファンド「おひさま基金」	838,000	事務連絡費	140,000
		支払利息	6,000
収入計	10,367,000	支出計	10,367,000

これからの太陽光発電はどうなるの？

林 敏 秋 (ワーカーズコープ エコテック)



世界的に伸びる太陽光発電

これまで住宅用太陽光発電のけん引役と言われてきた国の補助金も昨年10月に終了した。個人住宅向け助成制度は、地方自治体などで補助金制度を継続する所はあるが、国の補助金はない。右肩上がり伸びてきた日本の太陽光発電市場は今後どうなるのか、販売業者、メーカーも少し不安な面持ちである。

世界の太陽光発電システム市場は、欧州市場の伸びが著しい。2000年に制定されたドイツの再生可能エネルギー法は、太陽光、風力、バイオマスなどあらゆる再生可能エネルギー発電について、設置者が損をしないよう設置後20年間、電力事業者に買い上げることを義務づけている。こうした背景もあり、95年以来世界一を続けてきた日本の太陽光発電の年間設置量は、2004年にドイツに抜かれてしまった。04年の年間設置量は日本が約27万kW、ドイツが約36万kW。04年末の累積設置量は、日本が約113万kW、ドイツが約79万kWだった。この勢いで行くとドイツに追い越されるのも時間の問題と言われている。

京都議定書が発効し、CO₂削減が大きな課題となる中で欧州各国だけでなくアジアでも太陽光発電の導入がはじまっている。お隣の韓国では、電力量の買い取り価格が7倍となり太陽光発電の導入が加速している。中国でも上海万博が開催される2010年までに45万kWの導入を目指している。京都議定書から離脱したアメリカもブッシュ大統領が今年1月の一般教書演説で中東への石油依存を減らし、太陽光発電などの代替エネルギー開発に大きな投資を図る方針を明らかにした。電力危機に見舞われたカリフォルニア州では07年から10年間で300万kWの導入を目指している。

世界の太陽電池の需要は大きく増大する方向だ。欧州市場での需要の拡大にともなって、05年、世界市場の約半分を欧州市場が占めるようになったが

日本では皮肉な現象が起こっている。世界の太陽電池生産量の6割を生産している日本の太陽電池メーカーの輸出に占める割合が増大しているのだ。欧州への輸出の方が利益率が良いために輸出に60%以上回しているという。そのせいか日本の太陽電池市場は逼迫している。太陽電池がなかなか手に入らないという現象が起こっているのだ。太陽電池を販売しても現物が供給されないために店を閉める訪問販売業者も出てきているようだ。

地球温暖化対策としての

太陽光発電の発展を

世界市場の拡大で太陽電池の原材料となるシリコンが不足している。シリコンの供給量のうち半導体に6割使用され、太陽電池に回るのは3割弱という。原料メーカーは半導体市況に合わせて生産量を調整しているため、太陽電池メーカーへの供給量には限りがある。そのために原料の奪い合いが起き、年率20%前後の価格高騰が続いている。その影響もあって今春、国内の太陽電池メーカーは値上げをはじめた所も出てきた。高いところでは20%も値上げしたところもある。値下げ一方だった太陽電池も逆転現象が起り始めている。国の補助金がなくなり、太陽電池が値上がりということになれば、国内の市場は停滞するかもしれない。

太陽光発電は、原発維持のために考え出されたオール電化の付属品として販売されているのが現状だ。地球温暖化対策としての健全な太陽光発電の発展のためには改めて電力固定価格買い取り制度の法制化など抜本的な政策転換が求められる。

去る3月28日京都華頂ライオンズクラブから活動援助費50万円の贈呈を受けました。当会からは子どもの絵や写真をデザインした感謝状をお贈りしました。



「オール電化住宅」後悔記

鈴木 範子



♪ハッピー ハッピーハッピープラン〜♪

というCMに乗せられた訳じゃない。掃除が簡単だからって訳じゃない。都市ガスを引き込む「余裕」がなかったために オール電化の「家」に住む事になってしまったのだ。

私の連れ合いは、住む場所に拘って、3度も家を新築した。さすがに今回は、これが終の住処と、自然に恵まれた疎水べり、偽りなく駅まで五分、買物の便も良い、病院も近い。バリアフリーだし、南向き、日当たり良好、念願だった「太陽光発電」だって取り付けた。わずかだけれど庭もある。終の住処に相応しい。しかし、都市ガスを引けなかったのだから、もちろん塀は無く、丸裸の「オール電化住宅」になった。それでも、連れ合いのこの家に対する満足度は高く、老後は孫をベビーカーに乗せて、四季折々変化する疎水べりを散歩するのが夢だと、その日を今から楽しみにしている。

何故、都市ガスを引けなかったのか、。それはこの土地が条件付だったからだ。「条件付」とは、この土地を持つ業者に建築を依頼しなければならない事を意味する。価値観の違う業者に数百万を支払い「条件付」をはずす事にした。それはもうナケナシ、ぎりぎりのお金を使つての選択だった。

都市ガスが無いので、お風呂は追い焚きが出来ない。大学生と社会人、八十歳の連れ合いの母、それに中年夫婦。帰宅時間のバラバラな、この家族構成に「風呂の追い焚き」は必需品だ。その都度風呂の湯を張り直すため水道代、電気代が無駄に使われる。そのもったいなさは言いがたい。さらなるこの「オール電化住宅」の恐怖は、家の中に調理する為の「火」という原始的なものが存在しない事だ。その代わりに、掃除簡単、ハッピーな「電磁調理器」が存在している事だ。「電磁調理器」のスイッチを入れると、不気味な「音」と共に電磁波が発生し 私の指先から一気に産毛が総立ちになる。

ある専門書に因ると、電磁調理器を使った場合、使わなかった人と比較すると、その発ガン率は43パーセント上がるらしい。そして、電磁波を浴びる事を「被曝」と表現している。

もちろん電磁調理器は安全だ、ガン等との因果関係は立証されていないとする専門書もあり、専門家ではない私には解らない。しかし、因果関係が立証されていないならばなおさら、使用は避けたほうがいい。というのが私の立場だ。

経験に因る、取り扱い注意、(順不動)

- ☆ 使用中幼児は近づかない事。(なんと幼児の頭の高さは調理器と同じ位なのだ)
- ☆ 使用中はプロテクターを着ける事。(着けたほうが間違いが起こりにくいだろう)
- ☆ 妊婦の使用には特に注意が必要。(赤ちゃんは調理器具を選べないのでお母さんだけが頼り)
- ☆ 若年層の使用の場合も同上。(生殖器への影響力は最小限にしたい)
- ☆ など、など、...

ふー。こんなハッピーなオール電化住宅に住む家族は日本中にどれ位居るのだろうか？

スイッチ押すだけって、ほんとに豊かで便利なの。

今から「薪」でとは言わないけれど、やっぱり手間隙かけて暮らしたい。これじゃ、連れ合いの念願、孫が出来たって、ちょっと遊びにいらっしやいななんて軽々しく言えないし。息子と娘にだってスイッチ入れたら1mは離れて！と言い続け、恐怖に怯えながら、今夜も愛情いっぱいのお食事を作るのがか。でもそれもあと少しだ。3年計画のコツコツ貯金が都市ガスになる。少しでも速く都市ガスを引いて、寒い冬お湯を沸かして暖を取り、暑い夏、汗を流して調理する。風呂の追い焚きに感謝し、目に見える「火」を取り戻したい。ハッピーなオール電化にしたいとご一考の方がいらしたら、私のような「後悔記」にならないようにと願っている。

□きょうとグリーンファンドのメンバーになるには？

I. まず、会員の種類をお選びください。

(入会申し込み書は事務局まで)

正会員	10000円/年	催し物のご案内、会報(年2回程度)をお送りします。 ※正会員は「NPO法人社員」として会の運営に参加することができます。
賛助会員	6000円/年	催し物のご案内、会報(年2回程度)をお送りします。
法人・団体会員	10000円/年	催し物のご案内、会報(年2回程度)をお送りします。

II. 次に、払込みの方法をお選びください。

郵便振替 (年払い)	☆下の口座に直接振り込んでください。年1回 [郵便振替口座 00930-6-157817 きょうとグリーンファンド]
郵便局からの 自動払い (年払い)	◆ 正会員…年1回 10000円(入会月)が引き落とされます。 ◆ 賛助会員…年1回 6000円(入会月)が引き落とされます ◆ 法人・団体会員…年1回 10000円(入会月)が引き落とされます
郵便局からの 自動払い (月払い)	◆ 正会員…年1回 4500円(入会月)と、月々500円が引き落とされます。 ◆ 賛助会員…月々500円が引き落とされます。

★ろうきん口座からの自動払いの方法もあります。この場合手数料はかかりません。詳しくは事務局にお問い合わせください。

< ぐりふあん日誌 >

2005年

10/25 広島県大崎上島町エネルギービジョン
策定委員会メンバー見学会/あけぼの保育園
11/14 夢窓幼稚園ワークショップ
11/21 大宮保育所打ち合わせ
11/22 あけぼの保育園ワークショップ
11/29 夢窓幼稚園おひさまの集い
12/6 あけぼの保育園ワークショップ
12/7 第46回理事会

3/13 第48回理事会
3/14 「おひさま発電所」見学会と講演会、
「企業と市民で広げる自然エネルギー」
3/28 京都華頂ライオンズクラブ33周年
記念例会で活動援助費50万円を受領
4/1 「まちづくり交流会」-京都府建築士会主催-
事例報告

2006年

1/13 京都市中学校副読本掲載内容打ち合わせ
1/14 大宮保育所点灯式
1/28 京都・環境教育ミーティング分科会に
パネラーとして参加
2/3 第47回理事会
2/5 「ソーラーおおつ」設立総会で事例報告
2/6 大宮保育所との打ち合わせ
2/16 京都議定書発効1周年記念リレートーク参加:ゼスト御池
2/16 NEF取材 陵ヶ岡保育園
2/17 大阪国税庁へ認定申請について相談
2/21 事務局会議
2/23 金沢市環境保全課ヒアリング調査
3/7 事務局会議

4/4 事務局会議
4/7 事務局会議
4/8 第49回理事会
4/24 APバンクより取材を受ける

○京都府アドバイザー事業

・打ち合わせ 11/9 ・精華まつり参加 11/20

○自然エネルギーWG

・京セラ訪問 11/30 ・村田製作所訪問 12/5
・オムロン担当者陵ヶ岡保育園見学 12/5
・ミーティング 1/30 ・京都市と話し合い 2/24
・任天堂訪問 2/28 ・ミーティング 3/27

特定非営利活動法人きょうとグリーンファンド

事務局 〒600-8104

京都市下京区五条通高倉西入る万寿寺町143

いづつビル6F (火~金 13:00~17:00)

TEL/FAX 075-352-9150

E-mail grifan@h7.dion.ne.jp

ホームページ <http://www.h3.dion.ne.jp/~kyoto-gf>

